

西国巡礼慈悲の道

西国第二十八番

成相山

成相寺

観音様に支えられて

山主 石坪弘眞



こんなお便りを頂戴致しました。

「父が去年の十一月に亡くなりました。九十七才でした。毎年節分のお守りを頂いておりましたので最後の申込をしようと過去の用紙を見ると、兄弟家族総数六十名程も書き込んであり、これは大変な事を始めてしまったと後悔したのですが、書き進んでいく内に驚かされたのです。叔母の病気が治りますように。ひ

孫が運転免許を取ったので交通安全を等々。それぞれ

のお願いが毎年違っていたのでした。日頃はあまり喋らない父でしたが、名簿の中から家族を心配する父の声が聞こえてくるようでした。毎年こたつで背中を丸めて震える手で、一生懸命書いていたのですね。仏さんのお守りも有り難いけど、父の家族を思う願いの詰まったお守りを毎年持たして貰っていたのだと改め

て有り難く、父を思い出して泣けてきました。大して親孝行も出来なかった私ですが、今年から父の代わりをさせて頂きます。」お手紙を拝読して私ももらい泣きです。そして息子さんにはお父様の気持ちが確かに伝わったご様子で、何よりそれが嬉しく思えました。

「菩薩行」という言葉があります。観音様は衆生つまり私たちを見守るために如来の座にお着きにならず、菩薩のままで私たちに寄り添って下さっているのだと。「今年は苦勞したね」とか「よく我慢したね」と、いつも見守って下さっています。お手紙のお父様の深く家族を思いやる気持ちはまさにこの菩薩行を体現さ

れていたのではないでしょう。今の時代、人と人とのつながりが希薄になり何かしら孤独を感じ、もう頑張れないと思う時もあるでしょう。でも私達は決して一人ではないのです。ご先祖様も観音様もあなたに寄り添って下さっているのです。いつも私たちの背中を支え、ほめて下さったり、励まして下さっています。きつと温かい手なのでしょ。うね。そして、自分がしっかりと歩み始めたその後は、観音様のように誰かを想いそして支え、誰かの為に菩薩行が出来ているのか日々自問し歩んで行きましょうね。

合掌

西国第二十八番

なりあいじ
成相山 成相寺

橋立真言宗

御本尊／聖観世音菩薩（別名「橋立観音」） 開基／眞応上人

なみのおと まつのひびきも なりあいの
かぜふきわたす あまのはしだて

✧ 主な年中行事 ✧

- 2月3日 節分星供養
春秋彼岸 彼岸会
7月3日 開山奥の院供養
8月9日 施餓鬼供養及び千日会
毎月18日 御縁日

御祈祷は本堂にて毎日受け付けています。

❀ 観音風光 ❀

春は桜に石楠花、境内が薄紅色に染まります。秋は平成五重塔の囲いを紅葉が鮮やかに色どり、四季折々の自然の美しさの中で観音さまが皆さまのお参りをお迎えくださいます。また、山内より湧き出る観音湯が近隣のお宿でもご利用いただけます。

お問合わせ先

宮津天橋立旅館組合

電話 0772 (22) 2300

ご詠歌の意味

成相寺より見下ろす美しい天橋立 海より吹き付ける風、心地よく響く波の音
自然のメロディが重なり合って、観音様への願いを 織りなしていく様子を詠っております。

〒629-2241 京都府宮津市成相寺339

TEL 0772-27-0018／FAX 0772-27-1409 <http://www.nariaiji.jp/> E-mail info@nariaiji.jp

納経時間 午前8時～午後4時30分

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。